

美術科学習指導案

科 目	授業学級	授業場所	使用教科書
西洋美術史	2年8組（美術科）34名 （男子9名，女子25名）	芸術棟 デザイン室	時代別 日本・西洋 美術鑑賞

1 題 材 名 黒田清輝に影響を与えたパリの画家たち（西洋美術史）

2 題材の目標

- (1) 西洋美術史に関心をもつ課題を見つけ積極的に調べ、発表することができる。
- (2) 研究調査を生かして、より西洋美術史への関心と理解を深める。
- (3) 他人の発表を聞いて理解し、発展的に捉えることができる。
- (4) 美術史用語について意味を理解し、使い分けることができる。作品の良さを理解し説明できる。

3 題材の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化について知識・理解
西洋美術史に関心をもつ課題を見つけ、積極的に調べる。また、他者の発表に関心を持って真剣に聞き、必要に応じて記録をとることができる。	調べたことを、映像メディア機器等を用い効果的に発表することができる。	他者の発表を聞いて理解し、発展的に捉えることができる。	美術史用語について意味を理解して使い分けることができる。作品のよさについて理解し説明できる。

4 題材の指導計画（全18時間）

これまで学んだ西洋美術史について、鹿児島県出身の黒田清輝の留学に照らしながら、研究課題を見つけ、同時代の画家や、影響を受けた画家などについて調査研究し発表する。

5 題 材 感

- (1) 松陽高校では、毎年2年生のこの時期に、海外研修旅行でフランスを訪れており、美術史の授業などで学んだ本物の作品を見る機会を得ることでより深い鑑賞の学習ができています。
- (2) 黒田清輝の生涯や作品を通し、同時代に活躍した芸術家について調べることで、海外研修旅で訪れるフランスの芸術や文化により深く触れる機会とする。

6 生徒観

特に、美術への興味感心の高い生徒たちであるが、本校への進学を希望したきっかけはアニメや漫画に興味があったという生徒が多い。専門的美術への目的意識の高い生徒と、そうでない生徒の意識の差が大きく、制作活動への意欲や完成作品のレベルにも差が出ている。

西洋美術史については、生徒の中に特に興味深い者がおり、その生徒に引っ張られるようにクラス全体の関心も高くなっている。特に、海外研修旅行があるため、実践的学習に生かせるということで積極的に取り組んでいる様子がみられる。

調査・研究においては、パソコンやインターネットなどを効果的に使いこなしている。パワ

ーポイントは全ての生徒が操作できる。中には映像として研究をまとめる生徒もいる。また、書物・文献・資料などから読み取ろうとする努力が見られる。調査能力は高い。

7 指導観

黒田清輝が留学していた当時のフランスの状況を調べることで美術史で学んだバルビゾン派や後期印象派などについてより深く学ばせる。

海外研修旅行でパリの美術館を見学するほか、バルビゾン村のミレーのアトリエを見学することにより理解を深め、鑑賞の能力を高めていきたい。

8 本時の実際

(1) 本時の目標

- ア 研修旅行の事前学習についてメディア機器等を用い効果的に発表する。
- イ 他者の発表をしっかりと聞き理解することができる。
- ウ 美術史や鑑賞研究などについての関心や知識を高める。

(2) 本時の評価基準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化について知識・理解
西洋美術史に関心を持つ課題を見つけ、積極的に調べる。また、機器等を用い効果的に発表する。他者の発表に関心を持って真剣に聞く。	調べたことを、映像メディア機器等を用い効果的に発表することができる。	他者の発表を聞いて理解し、発展的に捉えることができる。	美術史で出てくる言葉の意味を理解して使い分けることができる。作品の良さについて理解し、他者に対して説明できる。

(3) 本時の展開 学習プリントは事前に配布しておく

過程	生徒の活動	指導上の留意点(※)と評価方法(◇)
導入 (5)	1 映像を見る 2 既習内容の確認をするとともに、本時の学習の目的を知る。	○ 映像視聴から入り、本時の内容について説明する。 ※ 「黒田清輝に影響を与えたパリの画家たち」について研究調査していることを押さえる。 ◇ 他者の発表をしっかりと聞き、理解を深める。[関心意欲]
	本時の研究テーマ 「バルビゾン派の画家たちと黒田清輝」	※ テーマを確認し、本時の目標について説明する。

<p>展開 1 (30)</p>	<p>1 研究発表</p> <p>(1) 発表 1 「バルビゾンの位置, 及びバルビゾンで活躍した画家達 (バルビゾン派とは) について」(今村, 川井田鮎, 宮原)</p> <p>(2) 発表 2 「ミレーとカラーについて (年譜, 作品)」(下西, 堀之内)</p> <p>(3) 発表 3 「黒田清輝とバルビゾンの関わりと現在のバルビゾン」(荒田, 川井田健)</p>	<p>※ 研究班ごとに発表させる。</p> <p>◇ <u>効果的発表の態度</u> [表現]</p> <p>◇ <u>他者の意見を聞く姿勢</u> [関心, 思考]</p> <p>※ 適宜, 補足説明等を行う。</p> <p>※ 既習事項の確認をさせることでより深く認識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バルビゾン派 ・ミレーの作品と生涯について
<p>展開 2 (10)</p>	<p>2 鑑賞活動</p> <p>(1) <u>教科書の《落ち穂拾い》の作品を見て気づいたこと, 感じたことを学習プリントに記入する。</u></p> <p>(2) <u>意見を出し合う。</u></p> <p>(3) <u>《晩鐘》について, 感じたことを学習プリントに記入する。</u></p> <p>(4) <u>意見を出し合う。</u></p> <p>(5) 先生の説明を聞く。</p> <p>3 本時で学んだことを学習プリントにまとめる。</p>	<p>※ 教科書を開かせる。</p> <p>◇ <u>思考を文章で表現</u> [思考, 表現]</p> <p>※ 回答予想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物のポーズについて ・帽子の色について ・画題について ・色彩, 構図について <p>◇ 感性的見方や論理的分析 [思考]</p> <p>◇ 積極的に発表する姿勢 [関心, 表現]</p> <p>※ 同時代の作家, 黒田清輝との関わりについて説明する。</p> <p>※ 現代開催されている「オルセー美術館展」についても説明する。</p> <p>◇ 意欲的に意見を聞く姿勢 [関心, 思考]</p> <p>◇ 学んだことを整理し, 文章で表現 [思考, 表現]</p>
<p>まとめ (5)</p>	<p>次時の予告を聞く。</p>	<p>※ 「フォンテーヌ・ブローについて」</p> <p>◇ 西洋美術史の基礎的な知識 [知識]</p> <p>◇ 海外研修旅行につなげる意欲 [関心]</p>